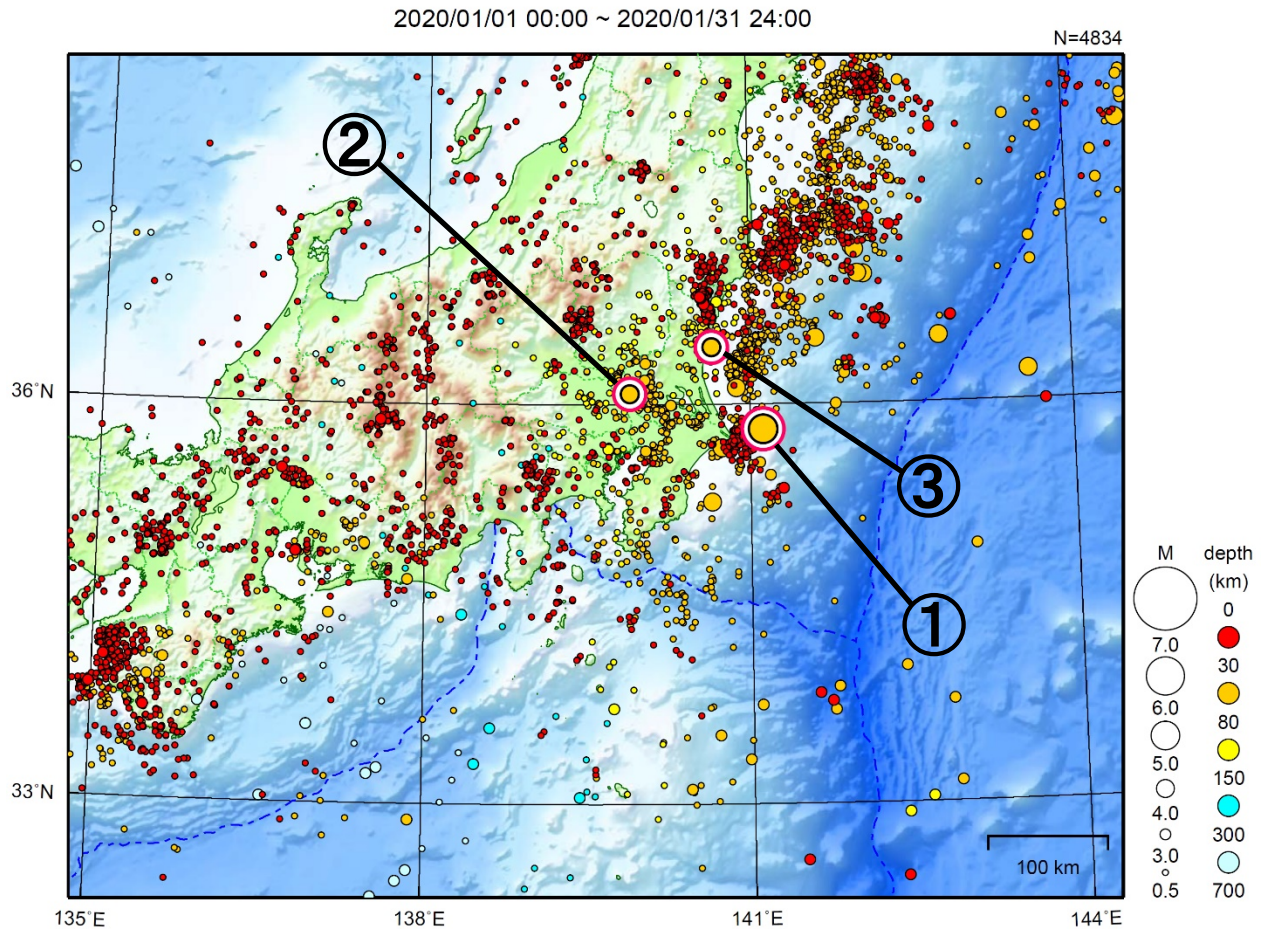


関東・中部地方



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 1月3日に千葉県東方沖で M5.8 の地震（最大震度 4）が発生した。
- ② 1月14日に茨城県南部で M4.8 の地震（最大震度 4）が発生した。
- ③ 1月21日に茨城県沖で M4.2 の地震（最大震度 4）が発生した。

（上記期間外）

2月1日に千葉県東方沖で M5.0 の地震（最大震度 3）が発生した。

情報発表に用いた震央地名は[千葉県北東部]である。

2月1日に茨城県南部で M5.3 の地震（最大震度 4）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

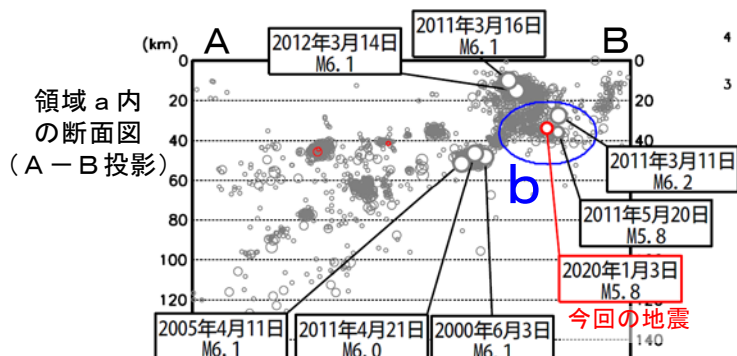
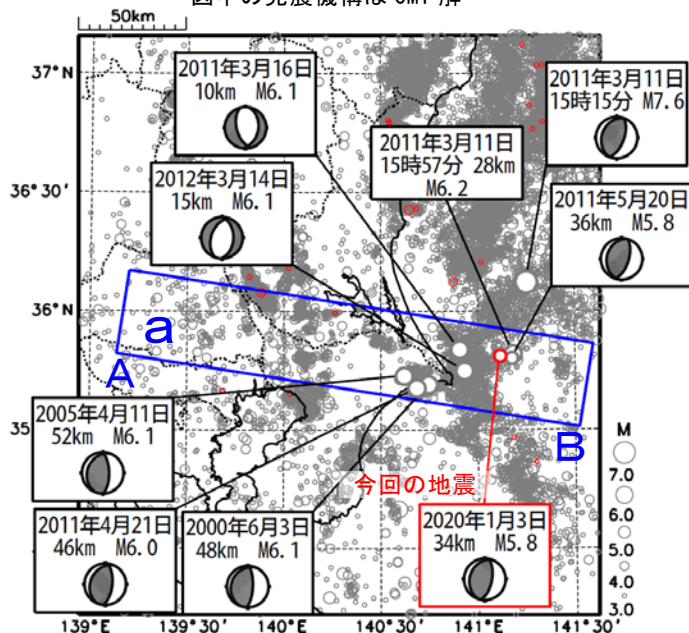
1月3日 千葉県東方沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2020年1月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)

2020年1月の地震を赤く表示

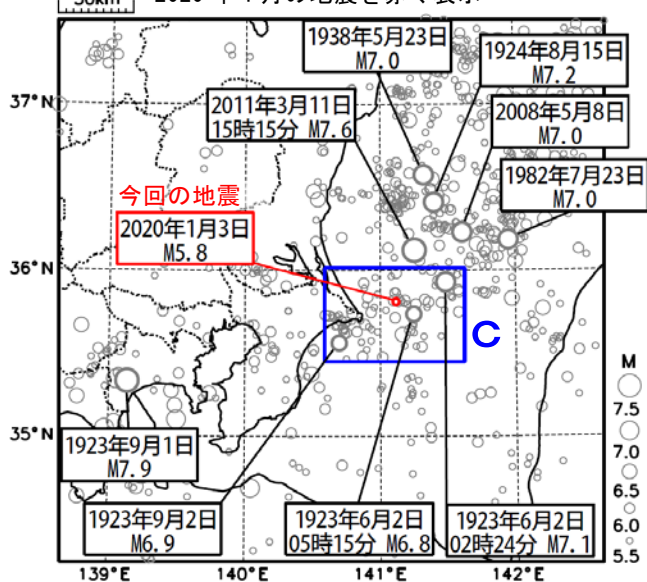
図中の発震機構はCMT解



震央分布図

(1919年1月1日～2020年1月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.5$)

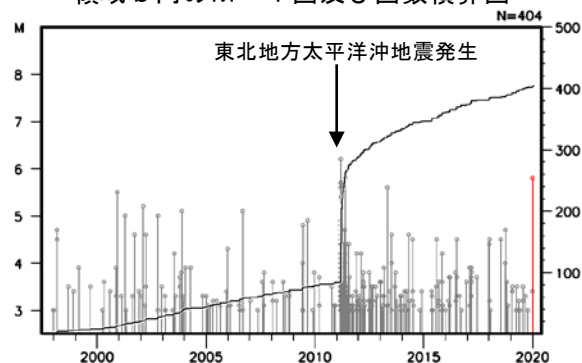
2020年1月の地震を赤く表示



2020年1月3日03時23分に千葉県東方沖の深さ34kmで $M 5.8$ の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

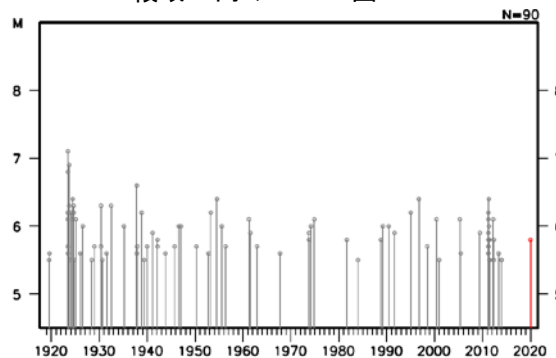
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、 $M 5.0$ 以上の地震が時々発生している。「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、「東北地方太平洋沖地震」と記す)の発生後は、2011年3月11日15時57分に $M 6.2$ の地震(最大震度4)が発生するなど、地震活動が一時的に活発になった。

領域b内のM-T図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。1923年6月2日02時24分の $M 7.1$ の地震では、鮎川で32cm(最大全振幅)の津波を観測した(「日本被害津波総覧」による)。また、この領域の北側では2011年3月11日15時15分に $M 7.6$ の地震(「東北地方太平洋沖地震」の最大余震、最大震度6強)が発生している。

領域c内のM-T図

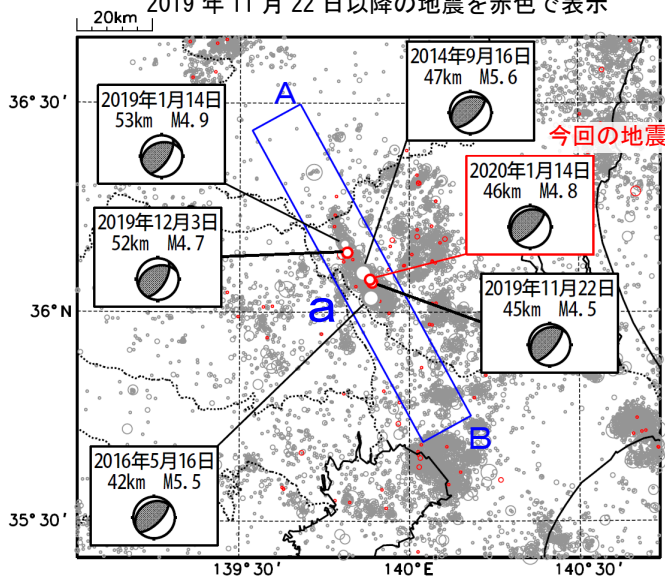


1月14日 茨城県南部の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2020年1月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)

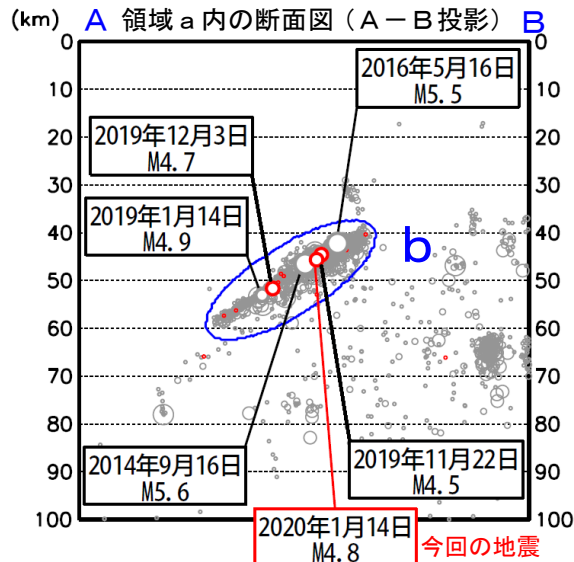
2019年11月22日以降の地震を赤色で表示



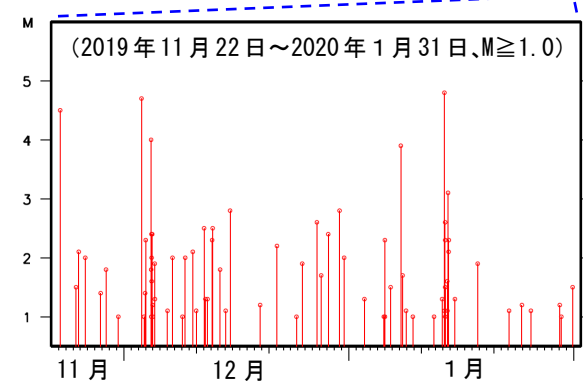
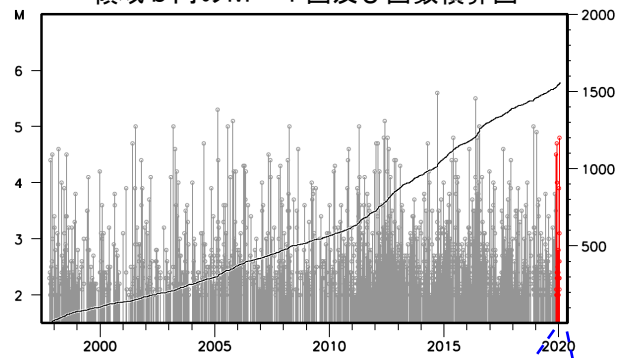
2020年1月14日04時53分に茨城県南部の深さ46kmで $M 4.8$ の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は、発震機構が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) は活動が活発な領域で、最近では2019年11月22日に $M 4.5$ の地震 (最大震度3) が発生した。また、今回の地震の発生場所の近くでは、2014年9月16日に $M 5.6$ の地震 (最大震度5弱) が発生し、負傷者10人、住家一部破損1,060棟等の被害を生じた (総務省消防庁による)。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、 $M 6.0$ 程度の地震がまれに発生している。

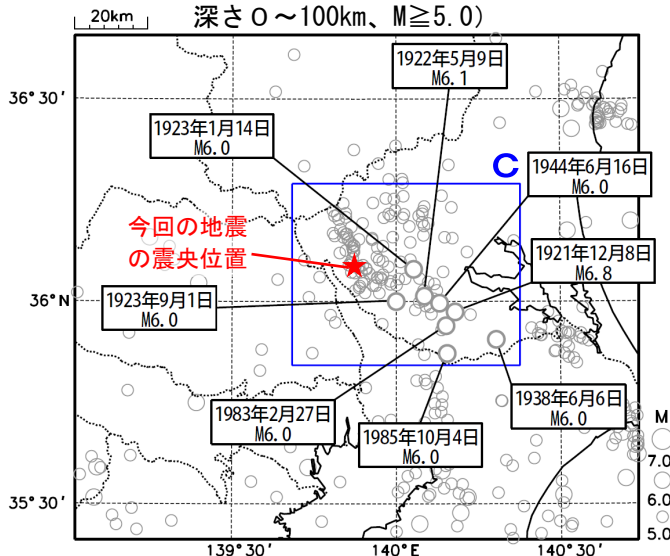


領域b内のM-T図及び回数積算図

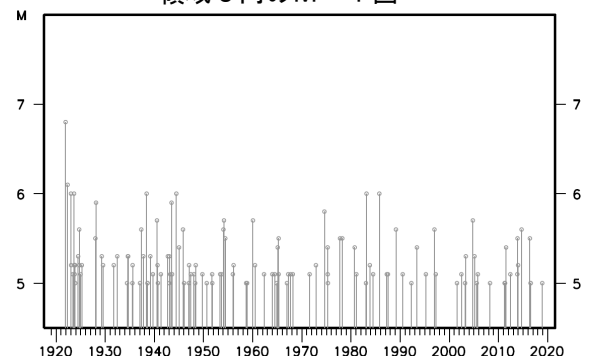


震央分布図

(1919年1月1日～2020年1月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

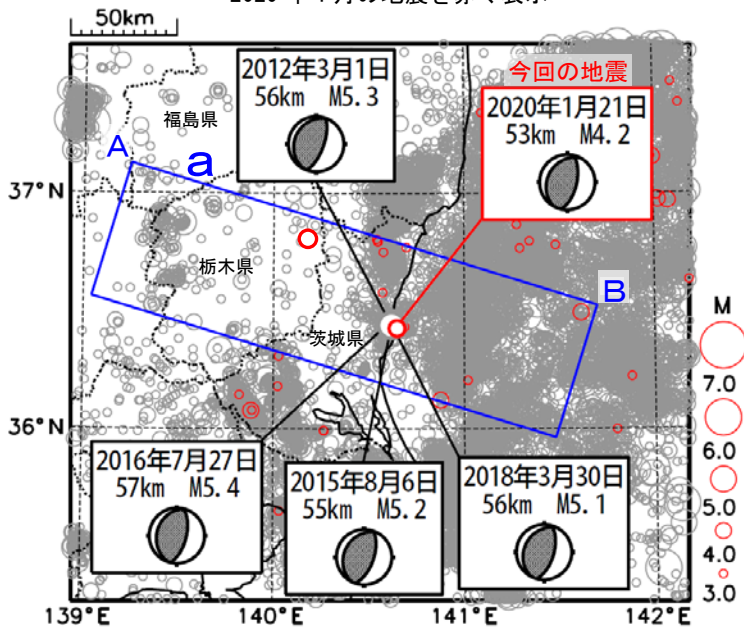


領域c内のM-T図

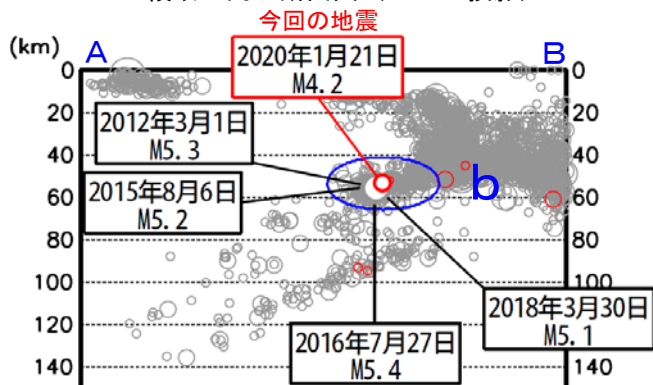


1月21日 茨城県沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2020年1月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)
2020年1月の地震を赤く表示



領域a内の断面図（A－B投影）

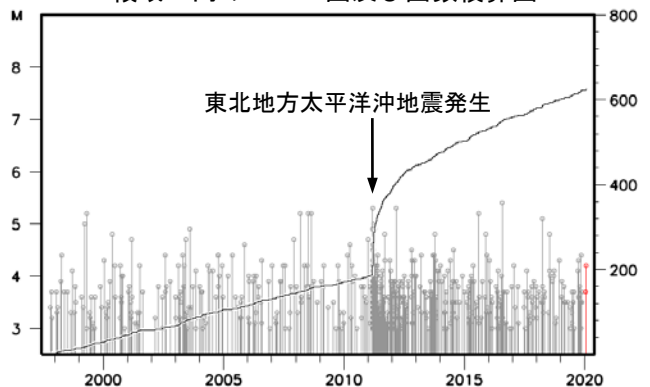


2020年1月21日13時25分に茨城県沖の深さ53kmでM4.2の地震（最大震度4）が発生した。この地震は発震機構が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

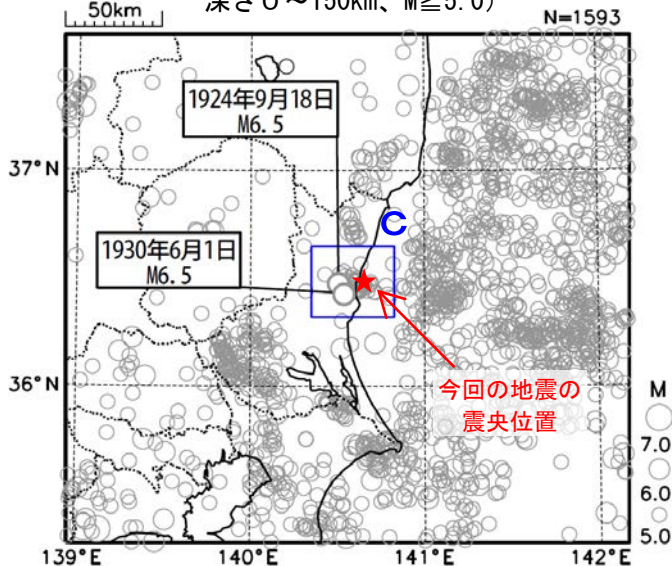
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）は、M5.0以上の地震が時々発生している。東北地方太平洋沖地震の発生以降、活動がより活発になっており、2012年3月1日にはM5.3の地震（最大震度5弱）、2016年7月27日にはM5.4の地震（最大震度5弱）が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域c）では、M5.0以上の地震が度々発生しており、このうち、1930年6月1日に発生したM6.5の地震（最大震度5）では、がけ崩れ、煙突倒壊などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

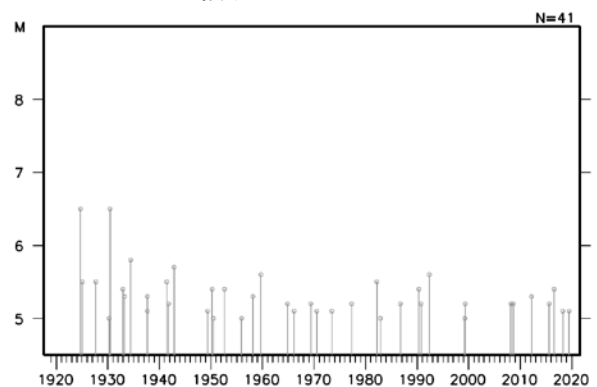
領域b内のM－T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2020年1月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)



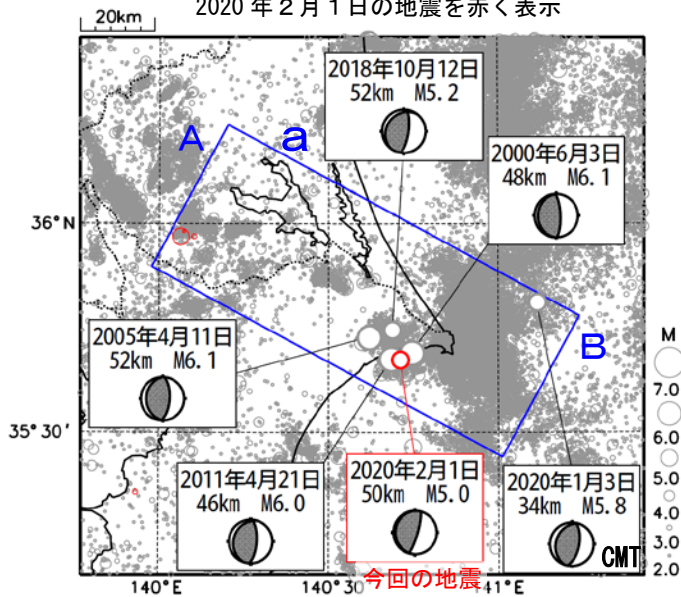
領域c内のM－T図



2月1日 千葉県東方沖の地震

情報発表に用いた震央地名は「千葉県北東部」である。

震央分布図
(1997年10月1日～2020年2月1日、
深さ0～120km、 $M \geq 2.0$)
2020年2月1日の地震を赤く表示

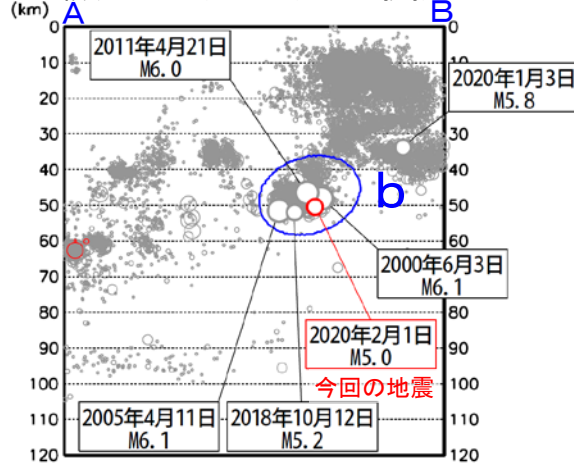


2020年2月1日01時11分に千葉県東方沖の深さ50kmでM5.0の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。

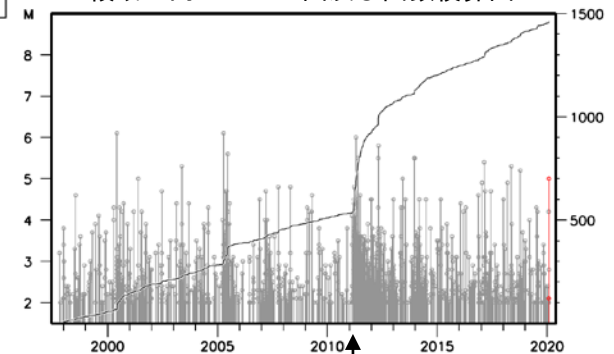
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域a) では、2020年1月3日のM5.8の地震 (最大震度4) が発生している。今回の地震の震源付近 (領域b) では、2000年6月3日のM6.1の地震 (最大震度5弱) が発生するなどM6.0以上の地震がたまに発生している。また、東北地方太平洋沖地震の発生以降は地震活動が活発になり、2018年10月12日のM5.2の地震 (最大震度4) のようなM5.0以上の地震が時々発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M6程度の地震が時々発生している。1987年12月17日に発生した千葉県東方沖の地震 (M6.7、最大震度5) では、死者2人、住家全壊16棟などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域a内の断面図 (A-B投影)

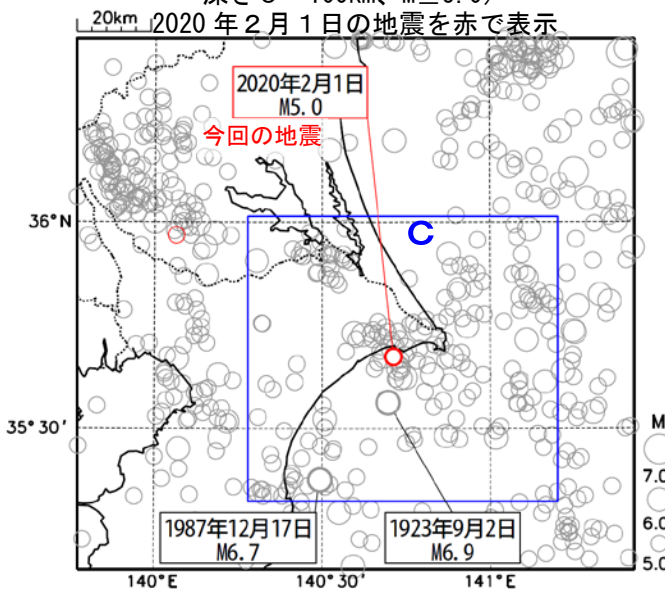


領域b内のM-T図及び回数積算図

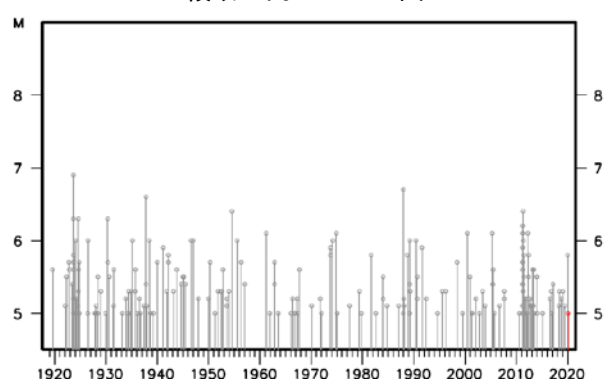


東北地方太平洋沖地震発生

震央分布図
(1919年1月1日～2020年2月1日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)
2020年2月1日の地震を赤で表示



領域c内のM-T図



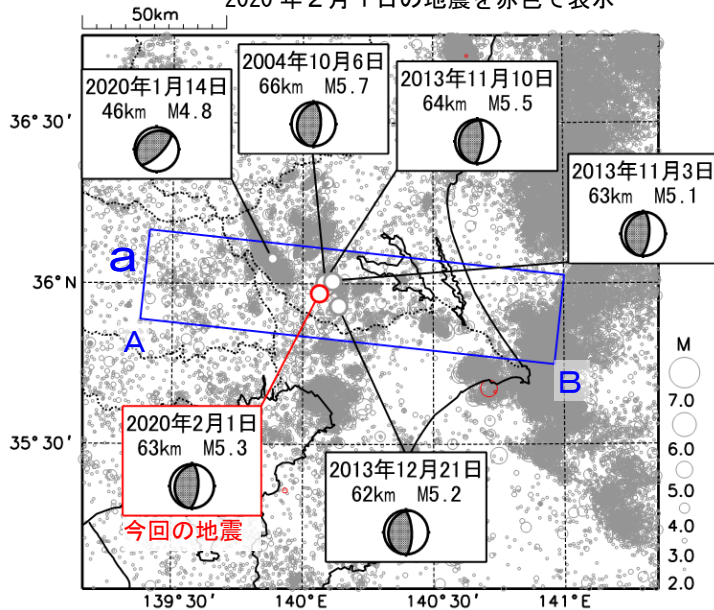
気象庁作成

2月1日 茨城県南部の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2020年2月1日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$)

2020年2月1日の地震を赤色で表示



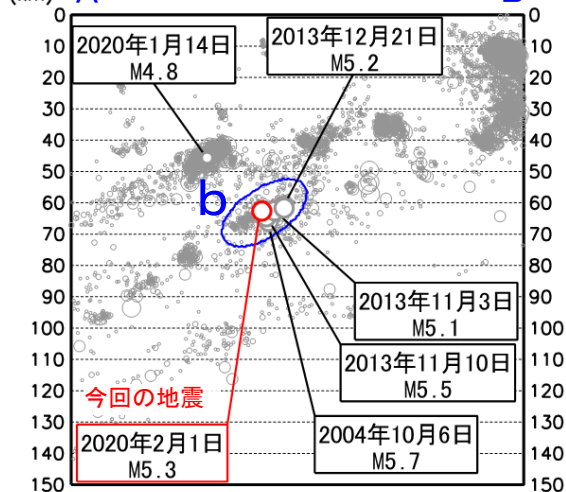
2020年2月1日02時07分に茨城県南部の深さ63kmでM5.3の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。

茨城県南部では1月14日にも、深さ46kmでM4.8の地震（最大震度4）の地震が発生している。

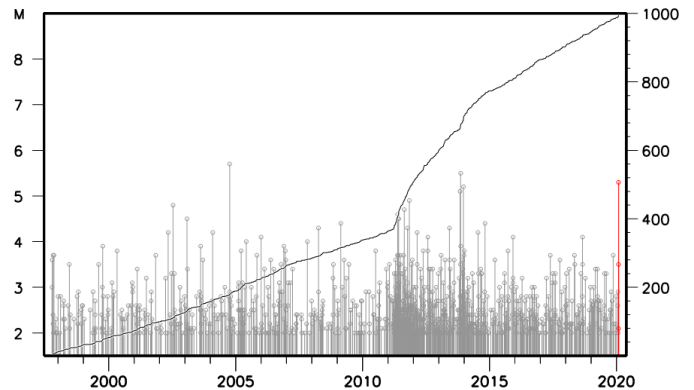
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）は、M4.0以上の地震がしばしば発生している。今回の地震の発生場所の近くでは、2004年10月6日にM5.7の地震（最大震度5弱）が発生し、負傷者4人、水道管破裂等の被害を生じた（総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0程度の地震が時々発生している。

領域a内の断面図（A-B投影）



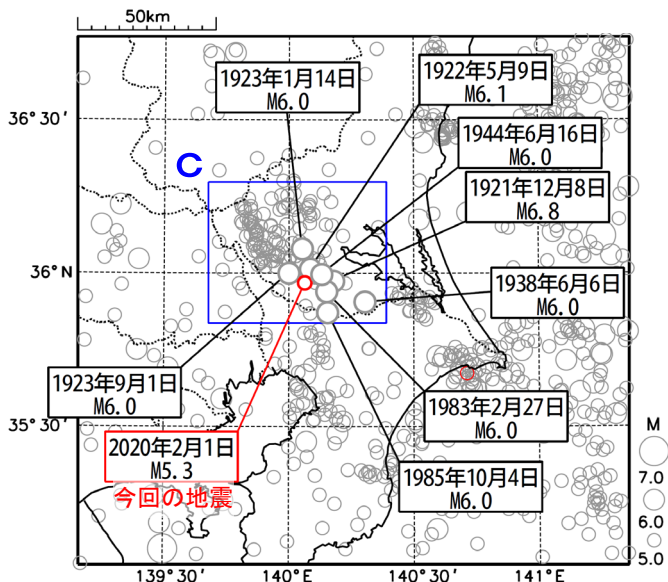
領域b内のM-T図及び回数積算図



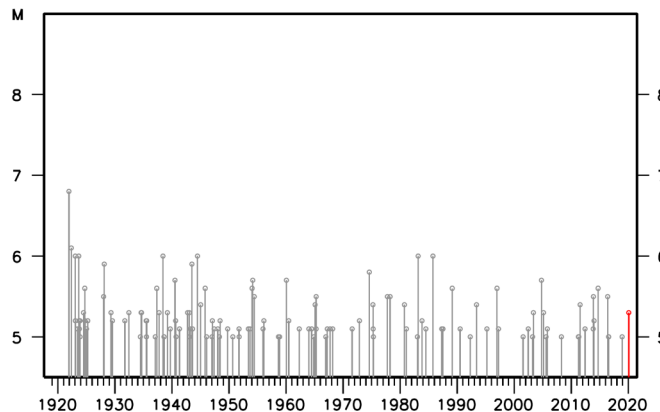
震央分布図

(1919年1月1日～2020年2月1日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)

2020年2月1日の地震を赤色で表示



領域c内のM-T図



気象庁作成